

「名古屋の歴史・文化・まちづくりと観光」

先ごろ上記タイトルの報告書を刊行した。「はじめに」にも書いておいたが、昨年4月から始めた「名古屋の観光」の共同研究プロジェクトの研究成果である。人間文化研究科の特色を活かして、歴史・文化・環境・まちづくりの分野から学際的に調査研究を行い、その成果を学部の総合科目「名古屋の観光」に反映させるものである。

報告書の目次を載せておこう。総合科目「名古屋の歴史・文化・まちづくりと観光」
2006年度講義ノート 講義・講演の記録(須田寛先生・西村幸夫教授) 現地
視察・調査概要とレポート(福岡市・大宰府市・横浜市、名古屋の「観光まちづくり」)
名古屋の観光に関する統計(「名古屋市観光客・宿泊客動向調査」)

この目次のように、報告書の中心は「名古屋の観光」の講義ノートである。JR東海相談役の須田寛さんを含めて7人が準備した講義ノート・資料を再構成したものである。すでにレポートでも紹介したように、この講義はじつに好評であり、今年度も社会人に「授業公開」をして実施する。報告書はテキストとして活用する予定だ。

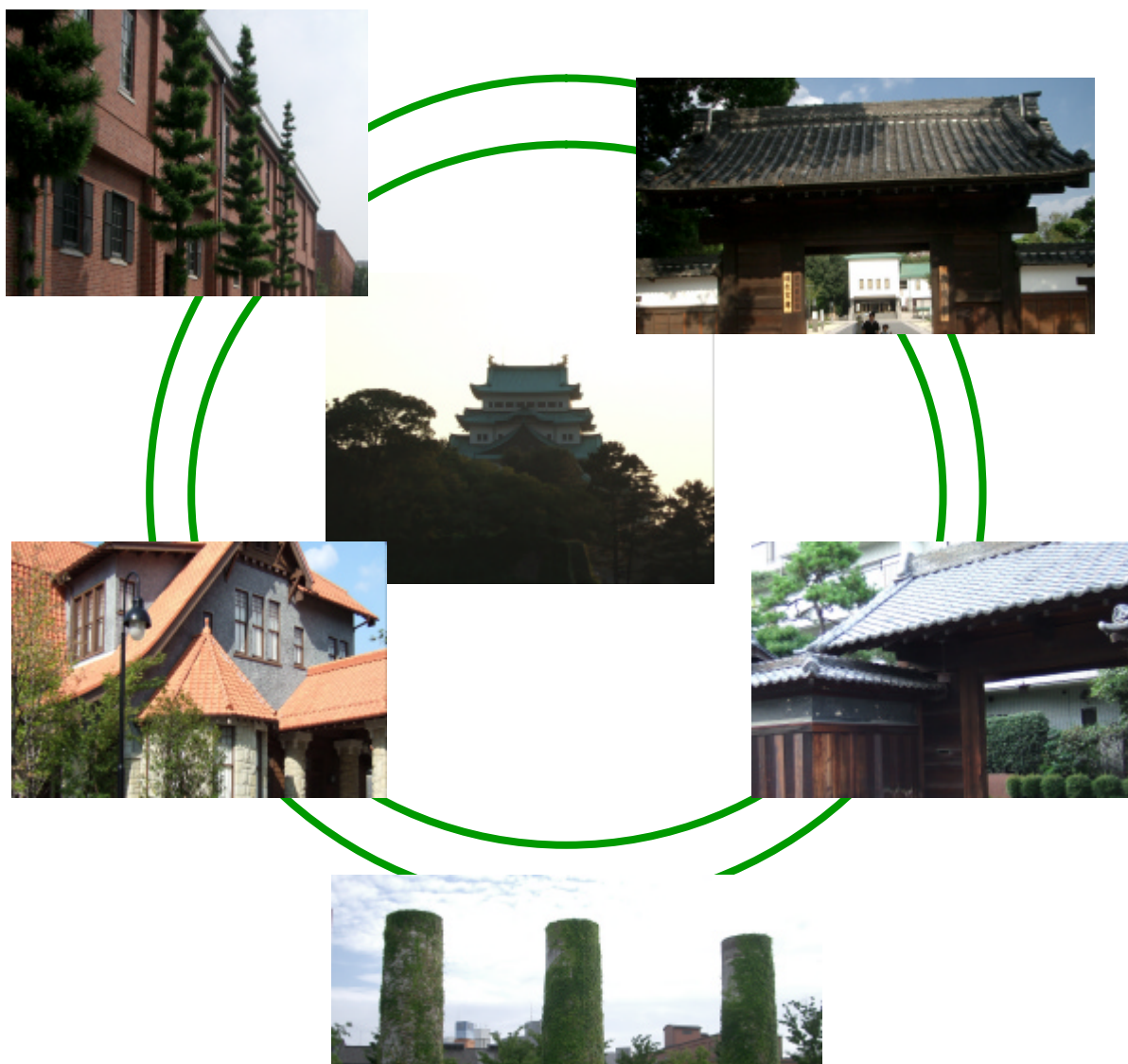
なかなか立派な報告書が刊行できたのは、本学の特別研究奨励費の交付を受けることができたからである。それと講義担当者が熱心に講義ノート・資料を作成してきたので、報告書をスムーズにまとめることができた。こんなに早く刊行できたのは、厄介な報告書の編集作業をゼミ生が引き受けてくれたことによる。次ページに載せてある表紙デザインのように、じつにセンスも良い学生である。このデザインは気に入っており、さっそく4月の「キャンパス例会」のチラシに使わせてもらった。

なお、報告書刊行の数日後に『なごやの観光を勘考する～名古屋の観光とまちづくり』という社会調査実習報告書も完成した。ふたつの報告書とも名古屋市や本学の関係者などから好評のようである。有効に活用していきたい。

(2007年3月25日 記)

名古屋の歴史・文化・まちづくりと観光

2007年3月



名古屋市立大学大学院人間文化研究科・人文社会学部
「名古屋と観光」プロジェクトチーム